

5 コース制で 進路実現!! 卒業生の声

私立文系大学コース



後藤 彰大

私は法律や政治のことなどに疑問が芽生え、社会で起きていることを深く理解できる人になりたいと思うようになりました。この思いを1年生の三者面談で先生に伝えたところ、自分でも以前から視野に入れていた福岡大学が話に上がり、オープンキャンパスにも行き、親とも話し合っただけで進路先を福岡大学に決めました。

勉強を進める中で挫折することもありましたが、周りの仲間が頑張る姿を見たり、先生や親が協力してくれたおかげで乗り越えることができました。

最後に、私は人生の中で頑張る時期はまさに今だという気持ちがありました。だから皆さんにはぜひ今自分にできることを全力で努力してほしいです。
(福岡大学)

理工系大学コース



内堀 颯太

私は進路を決める前から、選択肢を増やせるように、どのような進路を目指しても困らないように、少しずつ勉強をしていました。大学に行きたいという思いになったと同時に、担任の先生の言葉に背中を押されて、受験を決意しました。

後輩のみなさん、特にまだはっきりと進路を決定していない方にアドバイスです。進路を決めたときに困らないように選択肢を増やしてください。早ければ早いほど一度に多くの時間しなくてもよくなります。そして、色々なことをしてください。そこに、自分がやりたいことがあるかもしれません。そして自分のやりたいことを将来どのように活かしていくか考えてください。
(九州工業大学)

医療看護系コース



牛島 愛

私は2年生の時から帝京大学の作業療法学科に進学したいと考えていました。なぜなら帝京大学は最先端の医療器具が備わっているだけでなく、患者さんを第一と考える教育方針に魅力を感じたからです。しかし私はテスト勉強をおろそかにしていた時期もあって、大学の評定を満たしておらず焦っていました。絶対に合格したいと思ったので最後まで諦めずに、担任の先生や色々な先生方から放課後に残って教えていただきました。その甲斐もあって、評定が驚くほど上がり、受験の条件を満たすことができました。

最後に後輩の皆さん!勉強はやればやるほど身に付き、進路の幅が広がるので頑張ってください!!
(帝京大学)

公務員コース



石橋 菜穂

私は、2年生の時までは私立文系のコースを選択していました。その理由は、進学するか就職にするのかを判断することができなかったからです。しかし、2年生の時に行ったインターンシップで、地域に貢献することの喜びと価値観、また、働くという事の楽しみを知ることができ、3年生になるときに就職コースへ変更し就職を目指すことにしました。

就職試験にむけた準備のなかで思ったことは、高校生活の頑張りがそのまま評価されるということでした。私は出席皆勤することと、体育大会の副ブロック長をしたので、それをしっかりアピールすることができました。そのとき私は「頑張った分だけ返ってくる」ということを実感しました。後輩のみなさんもぜひ、高校生活を充実したものにして希望の進路をかなえてください。応援しています。

(日本郵便株式会社 九州支社)